

授業に関する面接について

教科名等	課題および児童（生徒）の実態・構想の条件等																									
<p>小学校</p>	<p>[テーマ（課題）] <b>※新型コロナウイルス感染症への対応を想定しないものとする。</b>                  小学5年生の算数科において、単元「四角形や三角形の面積」（教科書P198～221）を、全16時間で扱う。学習計画は以下の通りである。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 30%;">1～4時間目</td> <td style="width: 30%;">平行四辺形の面積</td> <td rowspan="6" style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="6" style="vertical-align: middle;">1～12時間目において、それぞれの面積の求め方を考えさせるとともに、見いだした求積方法や式表現から、公式を導き出させる。</td> </tr> <tr> <td>☆</td> <td>5～9時間目</td> <td>三角形の面積</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10～12時間目</td> <td>台形・ひし形の面積</td> </tr> <tr> <td></td> <td>13時間目</td> <td>一般四角形の面積</td> </tr> <tr> <td></td> <td>14時間目</td> <td>不定形の面積</td> </tr> <tr> <td></td> <td>15時間目</td> <td>面積の公式についての理解</td> </tr> <tr> <td></td> <td>16時間目</td> <td>まとめ・振り返り</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>本時（第5時）は、「三角形の面積」の求め方を考える最初の時間である。この本時の授業構想を、板書計画を基に説明しなさい。</p> <p>〈算数科における児童の実態〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童数 30人（男子16人、女子14人）</li> <li>○ 4年生時の「面積」の学習において、定着が十分でない児童3名おり、図形に対する抵抗感を持っている。</li> <li>○ 4月当初から、他の単元において、考えを出し合い、学級内で練り合う活動を行ってきている。</li> <li>○ 「自分の考えをまとめ、表現することが得意」または「少し得意」と答える児童は19人/30人であった。一方、「苦手、少し苦手」と答える児童は11人/30人であった。</li> </ul>		1～4時間目	平行四辺形の面積	}	1～12時間目において、それぞれの面積の求め方を考えさせるとともに、見いだした求積方法や式表現から、公式を導き出させる。	☆	5～9時間目	三角形の面積		10～12時間目	台形・ひし形の面積		13時間目	一般四角形の面積		14時間目	不定形の面積		15時間目	面積の公式についての理解		16時間目	まとめ・振り返り		
	1～4時間目	平行四辺形の面積	}	1～12時間目において、それぞれの面積の求め方を考えさせるとともに、見いだした求積方法や式表現から、公式を導き出させる。																						
☆	5～9時間目	三角形の面積																								
	10～12時間目	台形・ひし形の面積																								
	13時間目	一般四角形の面積																								
	14時間目	不定形の面積																								
	15時間目	面積の公式についての理解																								
	16時間目	まとめ・振り返り																								
<p>中学校 国語</p>	<p>[テーマ（課題）] <b>※新型コロナウイルス感染症への対応を想定しないものとする。</b>                  第1学年において、「随筆二編」と「構成や描写を工夫して書こう」を主な教材として、「自分を見つめる」という単元を設定した。本単元は6時間扱いとし、単元を貫く学習課題（言語活動）を「自分の思い出を随筆にしよう」とした。</p> <p>「随筆二編」を扱った後、「構成や描写を工夫して書こう」の学習において、自分が書く随筆の題材を選び、材料を集める活動を行う。次の時間に、「『随筆二編』の学びを生かして、自分が書く随筆の構成を考える」時間（本時）を設定した。</p> <p>単元の終末を意識しながら、この本時の授業構想を、板書計画を基に説明しなさい。                  （教科書「国語1」P216～223 光村図書）</p> <p>〈国語科における生徒の実態〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒は、これまでに何度も作文や詩等を書く体験を重ねている。そのため、書くことについて抵抗はなく、はじめ、中、終わり程度の構成については、意識して書くようになってきた。しかし、自分の伝えたいことに関してこだわりを持って構成を考えることはない。</li> <li>○ 随筆については、6年生で少し触れる機会があるものの、書くことも読むことも本格的に学習するのは、初めてである。</li> </ul>																									

<p>中学校 社会</p>	<p>[テーマ(課題)] <u>※新型コロナウイルス感染症への対応を想定しないものとする。</u>  第1学年の地理的分野「B 世界の様々な地域(2)世界の諸地域」において、「南アメリカ州」を取り上げ5時間の授業を構想した。  第4時の「ブラジルにみる開発と環境保全」(本時)の授業構想について、板書計画を基に説明しなさい。  (教科書「社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土」P116～117 帝国書院)</p> <p>〈社会科における生徒の実態〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地理的分野の学習への関心はあまり高くなく、地理的事象に関する個別の用語をそのまま覚えるなど、受身的な学習姿勢の生徒が多い。</li> <li>○ 一つの資料の読み取りはできるが、複数の資料を関連付けて考えていくことが苦手な生徒が多い。</li> </ul>
<p>中学校 数学</p>	<p>[テーマ(課題)] <u>※新型コロナウイルス感染症への対応を想定しないものとする。</u>  第2学年において、「1次関数」の単元を扱う。「1 1次関数」の中の「②1次関数のグラフ」(教科書P76～81)を4時間扱いとし、グラフの特徴を知ることによって1次関数の理解を深めたい。その際、グラフのかき方の指導に流れないようにしたい。  本時は、「1次関数 <math>y = ax + b</math> の <math>x</math> の係数 <math>a</math> について調べよう」(教科書P79～80)を扱う。  この本時の授業構想を、板書計画を基に説明しなさい。</p> <p>〈数学科における生徒の実態〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 既習の比例・反比例の内容について、式の意味、グラフのかき方、表の見方など基本的な知識、技能は、身に付いている。しかし、その内容を問題解決に生かすことができない生徒が多い。</li> </ul>
<p>中学校 理科</p>	<p>[テーマ(課題)] <u>※新型コロナウイルス感染症への対応を想定しないものとする。</u>  第3学年の単元「化学変化とイオン」の「酸やアルカリの正体は何だろうか」において2時間の授業を構想する。授業構想を、板書計画をもとに説明しなさい。板書は、2時間分を1枚にまとめて書くこと。  (教科書「理科の世界 3」) P202～205 大日本図書)</p> <p>〈理科における生徒の実態〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 既習事項や生活体験などと結びつけ、意欲的に学習に取り組む生徒が多い。</li> <li>○ 観察・実験の目的意識が低く、見通しをもって取り組むことができない生徒がいる。</li> <li>○ 実験結果から根拠をもって説明することが苦手な生徒が多い。</li> </ul>

<p>中学校 音楽</p>	<p>【テーマ（課題）】 <u>※新型コロナウイルス感染症への対応を想定しないものとする。</u></p> <p>第1学年において、「日本の民謡やアジアの諸民族の音楽の特徴を感じ取ってその魅力を味わおう」という題材（6時間扱い）を設定した。本題材の最初の2時間で「日本の民謡」を扱い、その後「アジアの諸民族の音楽」を扱う。</p> <p>本時はこの題材の第1時として、鑑賞を行う。「日本の民謡」を教材として、生徒が我が国や郷土の伝統音楽のよさを味わうことができるようにしたい。</p> <p>この本時の授業構想を、板書計画を基に説明しなさい。</p> <p style="text-align: right;">（教科書「中学生の音楽 1」P58～59 教育芸術社）</p> <p>〈音楽科における生徒の実態〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 共通教材「赤とんぼ」を扱った題材では、詩の内容や曲想を感じ取って思考し、工夫して表現することができた。</li> <li>○ 生徒に対する事前のアンケート調査により、ほとんどの生徒が日本の民謡を聴いたり歌ったりした経験が少ないことが分かった。</li> </ul>
<p>中学校 美術</p>	<p>【テーマ（課題）】 <u>※新型コロナウイルス感染症への対応を想定しないものとする。</u></p> <p>第1学年3学期において、ポスターカラー、アクリル絵の具を使う表現として、「私の住む地域のマンホールデザイン～印象に残るシンボルマーク～」という題材を設定した。本題材は8時間扱いとする。</p> <p>第1時の授業では、全国各地の特徴的なマンホールについて鑑賞を行い、アイディアスケッチを描く。次の時間（本時）に、第1時のアイディアスケッチを基に、小グループでの言語活動（友達との意見交換）を行い、更にアイディアスケッチを描く活動を設定した。</p> <p>この本時の授業構想を、板書計画を基に説明しなさい。</p> <p style="text-align: right;">（教科書「美術1 美術との出会い」P44～45 日本文教出版）</p> <p>〈美術科における生徒の実態〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 30人学級（男子16人、女子14人）</li> <li>○ この中学校区には7つの地区があり、この学級にはそれぞれの地区に3～5人ずついる。</li> <li>○ 美術科の授業に意欲的に取り組む生徒が多いものの、発想の場面において悩み、なかなか制作が進まない生徒が一定数いる。</li> <li>○ 1学期に「文字っておもしろい」（教科書P42, 43）を扱い、ポスターカラーやアクリル絵の具を扱う学習を行った。</li> <li>○ 「文字っておもしろい」の学習後に教師が題材を振り返ると、発想の場面において悩み、表現する際になかなか進まない生徒が半数いた。そのため本題材では、生徒のイメージを広げようと考え、第1時に全国で見られるマンホールデザインの鑑賞を行うこととした。</li> </ul>

<p>中学校 保体</p>	<p>【テーマ(課題)】 <u>※新型コロナウイルス感染症への対応を想定しないものとする。</u></p> <p>第2学年において、球技(ゴール型)「サッカー」を扱う。本単元は9時間扱いとし、本時はその6時間目である。男女混合8人のチームを4つ作り、サッカー経験によって差が出ないようなチームを構成した。</p> <p>単元を通して、課題やその解決のための練習方法について考えを伝え合う活動を実施している。単元の前半では、基本的な技術の習得について学び、単元の中盤では、練習ゲームを行ったが、メンバー間の連携の面ではつまづきが見られた。</p> <p>本単元の終末を見通しながら、本時における授業を構想し、板書計画を基に説明しなさい。</p> <p>〈保健体育科における生徒の実態〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元導入時のアンケートで「サッカー」が好き、得意だと感じている生徒は12人、嫌い、苦手だと感じている生徒は16人いる。どちらでもない、は4人。この単元には見学者もなく、全員参加できている。</li> <li>○ 1年時には、球技で「サッカー」を実施していない。</li> </ul>
<p>中学校 技術</p>	<p>【テーマ(課題)】 <u>※新型コロナウイルス感染症への対応を想定しないものとする。</u></p> <p>第1学年において、「A材料と加工の技術」を題材として設定する。始めに材料と加工の技術について学び、その後木材を加工した製作を行った。</p> <p>本時は、この題材の最後の授業であり、「これからの材料と加工の技術」を教材として、まとめの学習(1時間)を行う。</p> <p>この本時の授業構想を、板書計画を基に説明しなさい。ワークシートを使用すると想定する場合、ワークシートを黒板に書いてもよい。</p> <p>(教科書「技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて」P88～91 開隆堂)</p> <p>〈技術・家庭科(技術分野)における生徒の実態〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 男子15人、女子15人、計30人の落ち着いた学級。</li> <li>○ 多くの生徒は図画工作科において、のこぎりやげんのう等の工具を使用してきたが、知識・技能の習得や課題の解決策を構想する力には個人差がある。</li> <li>○ 技術を多様な側面から評価しようとしている生徒は少ない。</li> </ul>
<p>中学校 家庭</p>	<p>【テーマ(課題)】 <u>※新型コロナウイルス感染症への対応を想定しないものとする。</u></p> <p>『B衣食住の生活』の「住生活」を6時間で扱う。「1住まいのはたらきとこちよさ」の学習を2時間行った後で、「2安全な住まいで安全な暮らし」の学習を2時間扱いで行う。本時は、「2安全な住まいで安全な暮らし」の2時間目で「②災害への備え」を学習する。</p> <p>この本時の授業構想を、板書計画を基に説明しなさい。ワークシートを使用すると想定する場合、ワークシートを黒板に書いてもよい。</p> <p>(教科書「技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生」P218～221 開隆堂)</p> <p>〈技術・家庭科(家庭分野)における生徒の実態〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 男子16人、女子14人、計30人の2年生の学級</li> <li>○ 前時に、「①家庭内事故への備え」(P214～217)を扱い、幼児や高齢者に起きる家庭内事故の要因と対策としての安全管理の方法について学習している。</li> <li>○ 全体的に災害の知識はもっている。しかし、家庭や地域の災害への備えについての知識や技能、取組には個人差がある。</li> </ul>

中学校  
英語

【テーマ(課題)】 ※新型コロナウイルス感染症への対応を想定しないものとする。

第2学年において、「Unit 7 Amazing Australia」の単元を9時間で扱う。

第3時までに、形容詞の原級に -er、-est を付けて比較級、最上級にする比較表現を学習し、第4時(本時)は、more、(the) most を加えた比較級、最上級を用いた比較表現について理解し、使うことをねらいとする。なお、as ~ as を使った比較表現は、第5時以降で扱う。単元の終末は、「外国からの観光客を増やすため、浜松市の観光大使になったつもりで、おすすめの名所や名物をウェブサイトの記事に書いて紹介する。」という言語活動を設定する。

この本時(第4時)の授業構想を、板書計画を基に説明しなさい。

(教科書「Here We Go! ENGLISH COURSE 2」P98~99 光村図書)

#### 〈英語科における生徒の実態〉

- 男子16名、女子16名、計32人の学級。
- 英語を「聞くこと」「話すこと」については抵抗が少なく、積極的に言語活動に取り組む生徒が多い。ただ、人とかかわることが苦手だと感じる生徒や、自分の思いを表現することに自信が持てない生徒が数名いる。
- 英語を好きだと答える生徒は比較的多いが、文法事項を正しく用いて表現することに課題が見られる生徒が半数近くいる。
- 語彙の定着にも個人差があり、聞きたいことや言いたいことが英語で伝わりにくい場面が時々見られる。

## 保健に関する面接について

養護  
教諭

[テーマ(課題)] ※新型コロナウイルス感染症への対応を想定しないものとする。

### ◇テーマ1 (保健教育)

あなたの小学校で、5年2組の担任が「体育 G保健 (1) 心の健康」の単元を以下のように計画しています。あなたに専門職 (T2) として、第3時の指導に加わってほしいと、依頼がありました。担任からの依頼は、「呼吸法やストレッチ、体ほぐし運動等の具体的な方法について、心や体への変化を踏まえて児童に指導してほしい」という内容です。面接委員を児童に見たてて、4分以内で実演指導を行ってください。

○ 単元名「心の健康」

○ 単元計画

第1時「心の発達」

心は人との関わり、あるいは自然とのふれあいなど様々な生活経験や学習を通して、経験を伴って発達することを理解する。

第2時「心と体の密接な関係」

不安や緊張時には体調を崩しやすく、体調が悪いときは落ち込んだり、体調がよいときは気持ちが明るくなったりするなど、心と体は深く影響し合っていることを理解する。

第3時「不安や悩みへの対処」(本時)

不安や悩みは誰もが経験することである。その時、自分に合った適切な方法で気持ちを楽にしたり、気分を変えたりすることで対処できる。体ほぐしの運動や深呼吸を取り入れた呼吸法などを行うとよいことを、体験を通して理解する。

○ 5年2組の児童の実態

「心のアンケート」の結果では、7割の児童が「不安や悩みがある。」と答えた。その理由は「友達のこと」「勉強のこと」「家のこと」の順に多かった。また、その解決方法として、「友達や家の人に話す」「スポーツをする」「好きなことをする」などが挙げられた。

### ◇テーマ2 (不登校児童・生徒への対応について)

あなたの学校(中学校)で不登校気味の生徒が増えてきたので、健康相談を実施することになりました。職員には職員会議で、生徒には全校集会で健康相談の実施について説明をします。面接委員を職員、生徒に見立て、それぞれに対してお話をしてください。